取扱説明書

保管用

DC24V　屋内専用

LED 導光板パネル
LDP シリーズ
（DC24V　専用）

FKK corporation
www.fkk-corporation.com

2020.8.27

【ご使用前に必ずお読み下さい】
⚠安全上の注意

警告

	● 製品の分解・改造は、しないでください。感電・故障の原因になります。		● お手入れの際は必ず電源を切ってください。感電の原因となります。 ● 万一、煙が出たり異臭がする等、異常が発生した場合はただちに電源を切ってください。火災・感電の原因になります。 その後工事店、電気店に修理を依頼してください。
	● 不安定な場所では使用しないでください。落下の原因になります。 ● 製品の隙間に金属類を差し込まないで下さい。感電・故障の原因となります。 ● LED 点灯時、製品を布・紙で覆わないでください。製品内部の温度が上昇し LED の劣化・火災の原因になります。 ● 製品を造営材等へ埋め込んで使用しないで下さい。故障・火災の原因になります。 ● 屋外や湿気・水分のある場所では使用しないでください。感電・漏電・故障の原因になります。		●製品取り付けは器具の重量に耐える所に取扱い説明書の従って確実に行ってください。火災・感電・落下の原因になります。 ●電源を接続する際は、取扱い説明書の従って確実に行ってください。火災・感電・落下の原因になります。 ●製品取り付け部の強度を確保してください。製品取り付け面は製品の重量、保守点検時にかかる力などに十分に耐える強度を確保してください。落下の原因となります。

⚠注意

● 製品の電源電圧　DC24V±3%で使用してください。故障・短寿命の原因になります。 ● 周囲温度 5 ～ 40℃以下・周囲湿度 85%以下で使用してください。故障・短寿命の原因になります。 ● 製品の連続使用は定格表参照ください。感電・漏電・加熱の原因になります。	● 引火する危険性 (ガソリン・シンナー等) のある所では使用しないで下さい ● 器具の付近で赤外線リモコン機器を使用しないで下さい。誤作動の原因になります。

⚠ご使用上の注意

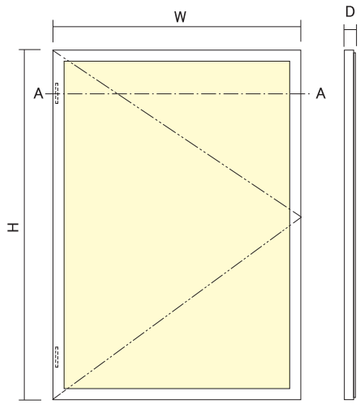
● 製品の取付け工事は必ず電気工事店に依頼してください。 ● 濡れた手で製品を触らないでください。感電の原因になります。	● 器具清掃の際は、シンナーやベンジン等を使用しないでください。水、または中性洗剤を浸した柔らかいをよく絞って拭いてください。 ● 点灯中は商品等を近づけすぎないでください。

定格表

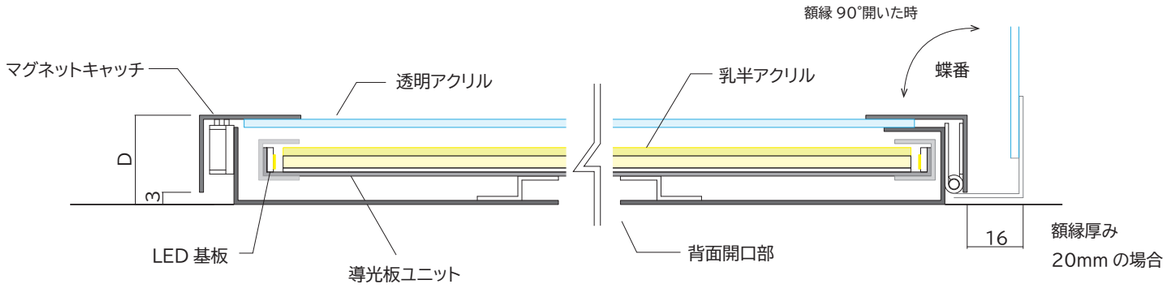
定格入力　DC24V　※電源トランス(DC24V)へ接続してご使用下さい。

型番	サイズ	外形寸法(W×H×D)	画面寸法 (W×H)	消費電力(W)	重量 (kg)	面照度(lx)	導光板厚み (mm)
LDP-B0	B0	1,070×1,496×23	1,010×1,436	80	36	4500	5
LDP-B1	B1	758×1,060×23	708×1,010	56	16	5200	3
LDP-B2	B2	545×758×22	495×708	27	8	5500	3
LDP-B3	B3	394×545×22	344×495	19	5	7500	3
LDP-B4	B4	287×394×22	237×344	13	3	13300	3
LDP-A0	A0	881×1,229×23	821×1,169	64	22	4700	3
LDP-A1	A1	624×871×22	574×821	45	10	7000	3
LDP-A2	A2	450×624×22	400×574	21	5	7000	3
LDP-A3	A3	327×450×22	277×400	16	3	9300	3
LDP-A4	A4	240×327×22	190×277	11	2	14600	3

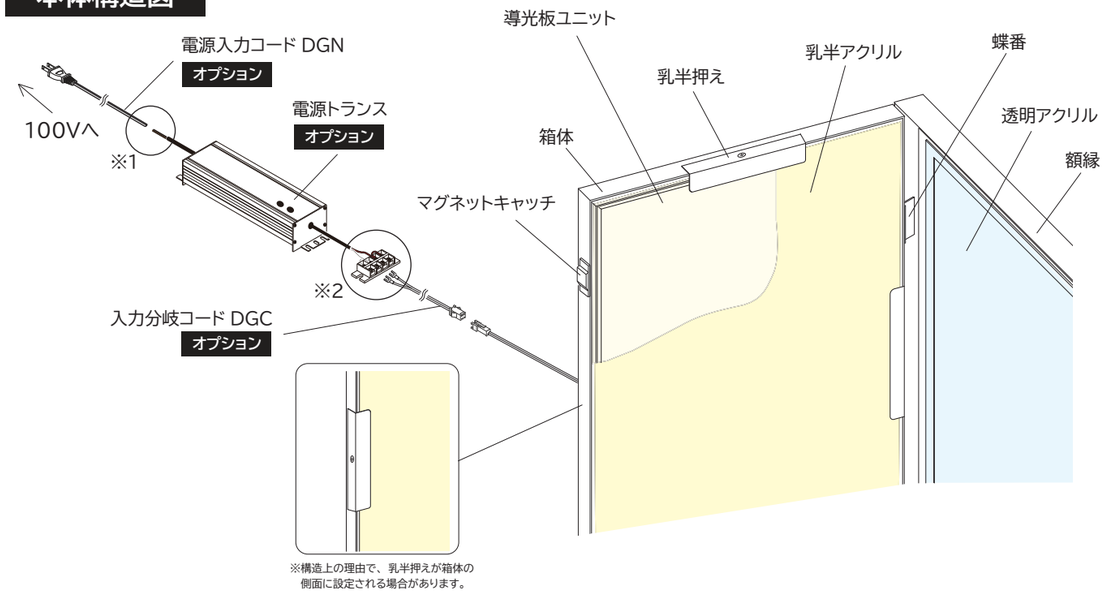
□本体外形図



□本体構造断面図(上図 A-A)

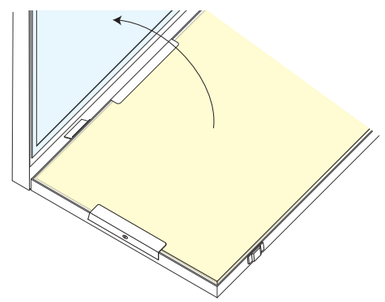


本体構造図

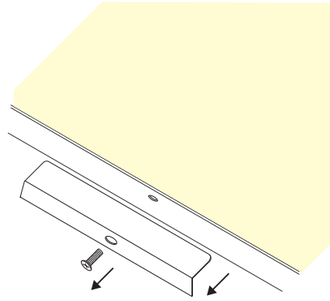


※1　電源コードを直結した箇所は確実に絶縁処理を実施下さい。
※2　端子台の無い電源トランスを使用する場合は、電源コードを直結し、確実に絶縁処理を実施下さい。

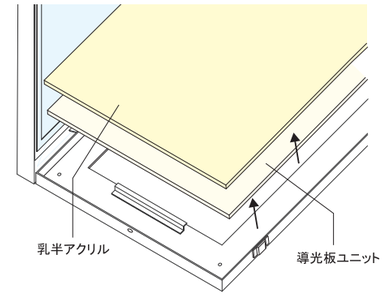
本製品の施工手順



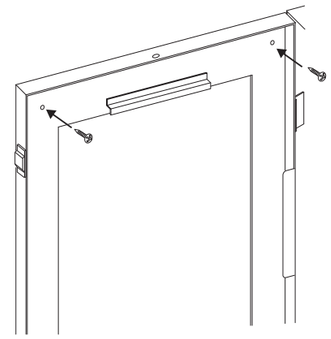
①本製品を平坦な場所に置いて額縁を開ける



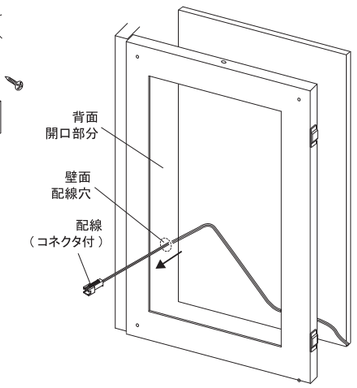
②乳半押えのビス止を外して箱体から取り外す。



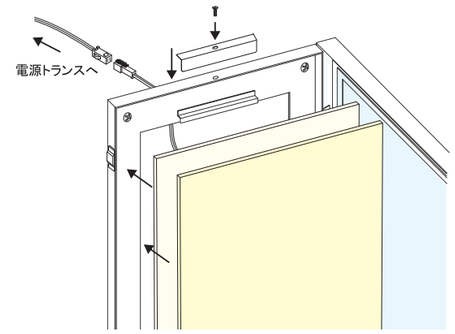
③乳半アクリルと導光板ユニットを箱体から取り外す。



④箱体を壁面に当て、箱体背面のビス穴から壁面にしっかりビス止めする。



⑤導光板ユニットの配線を、箱体背面の開口部分から壁面の配線穴に通す。



⑥導光板ユニットと乳半アクリルを箱体に戻し、乳半押えで固定する。しっかりと固定されているか確認してから額縁を閉じ、同梱の電源トランスをコネクタ接続する。

お手入れのしかた

＊定期的に清掃してください。フレームおよびフレーム周辺は埃がたまりやすく、放置していますと壁等を汚すことがあります。
＊汚れを落とす場合は水または石鹸水に浸した布をよく絞って拭き取ってください。
＊製品をシンナー、ベンジン等、揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・変質の原因となります。
＊定期的に点検してください。本体ビス止め部と壁面にガタつき、錆、腐食等、異常が無いか点検し、異常がある場合は施工業者にご連絡ください。